



6月号

学校だより

育ち学ぶ当事者 支える当事者 下福田小学校

- よく考える子
- 思いやりのある子
- 健康で明るい子
- がんばる子

令和6年6月3日

心遣いに気付く

学校長

高座渋谷駅から学校に向かう際、遠方に富士山が望めます。頂を覆っていた雪も日に日に少なくなっているのを見ると、季節の変化を感じることができます。

5月は保護者の皆さんにたくさんのお力添えをいただきました。まずは21日の「下福田小清掃の日」です。26日の市の「清掃の日」に合わせ、学校でも取り組んでいる行事です。校地の雑草が茂ったあたりを担当していただいたので大変だったことと思います。終了後にはごみ袋が山となるほどでした。翌週の27日にはプール清掃に参加をいただきました。あいにくの天気で途中から小雨も降ってきましたが、プール底に溜まった一年分の汚れをきれいにしていただきました。両日ともお時間を割いて学校をきれいにしてくださったこと、大変心強く感じています。ありがとうございました。

6年生は小学校生活の中でも大きなイベントである修学旅行へ出かけてきました。天候に恵まれ、日光の歴史や自然に大いに触れ、友達同士の絆も深めた二日間となりましたが、帰りのバスの中、担任から「ホテルなど施設スタッフの方、バス乗務員さんや添乗員さん、何よりもみんなを旅行に送り出してくれたおうちの方からの心遣いに気付けるのは大切なこと」というような話がありました。楽しい思い出だけではなく成長につながるきっかけも得る行事となったことでしょう。

下福田小学校の子供達たちには、日常の中での様々な支えに気付ける人に育ってほしいと願っています。

下福田小学校の「働き方改革」について

国や県・市の教育委員会でも対策を進めているところではありますが、具体的な手立てまでには至っていないのが現状です。本校の教職員は骨身を惜しまず日々の教育活動にあたっていますが、心身の健康を管理することは校長としての責務と考えています。また、時間的余裕を少しでも生み出していくことは充実した学習指導や丁寧な児童対応へとつながっていき、そのことは教育委員会が力を入れている学力向上・不登校対策にもつながっていきます。教員の残業の扱いについては報道等で知られるようになってきていますが、休日や夜間の勤務は制度上、難しいあるいはできないとなっています。今後、学校として様々な見直しや工夫をしていく中で、これまで通りの対応が難しい部分も出てくるかもしれませんが、ご理解をお願いいたします。